

(敬称略)

石井幹子 (いしい・もとこ)

照明デザイナー。石井幹子デザイン事務所主宰。

東京都出身。代表作は東京タワー、東京駅、レインボーブリッジ、函館市や長崎市の景観照明。近年はオペラの照明や光のパフォーマンスにも取り組む。2000年紫綬褒章受章。光文化フォーラム代表として、国内外の光文化の継承・発展にも力を注いでいる。

(社) 日本照明器具工業会

1942年(昭和17年)創立、1975年(昭和50年)法人設立認可。照明器具(その支持装置及び制御装置を含む)の製造・販売を行う事業者及び団体を会員として構成する団体。全国組織の団体であり、会員が製造・販売する照明器具は、現時点で全国生産量の95%以上を占める。照明器具を、より安全、より快適に利用願うとともに、より環境にやさしい省エネ製品を提供するため、調査・普及啓発等の事業を実施。

(社) 日本電球工業会

1933年(昭和8年)創立、1957年(昭和32年)法人設立認可。電球、放電ランプ及び放電ランプ用安定器、電子トランス(以下「電球類等」という。)に関する調査研究、品質・性能及び安全性向上施策の推進、規格の立案等を行うことにより、電球類等の製造業及び関連産業の健全な発展・産業振興に資するとともに、電球類等を用い照明一般に関する知識の普及等により、国民生活における安全性の確保と生活文化の向上に寄与することを目的とした団体。

(社) 照明学会

1916年(大正5年)創立。研究・調査活動、研究助成、講演会の開催等により、日本における照明技術の発展や照明知識の普及に大きく貢献している団体。

欧州ランプ会社連合会 (ELC)

欧州のランプ会社連合を代表する団体。この団体の会員が生産・販売する電球類は欧州の95%を占める。

(社) 日本電球工業会とは、2004年から相互交流を開始し、環境、省エネなどの情報交換を進めている。

中国照明電器協会 (CALI)

1989年創立。中国における電球類、照明器具類を製造・販売する事業者で構成する団体。(社) 日本電球工業会とは、2004年から情報交換会を開始し、2006年に友好協力協定を締結した。会報の交換など、相互の情報交換を継続している。